

## 企画提案書作成要領

### 1 様式等

- (1) 企画提案書の様式は、別紙の標準様式によるものとしますが、定められた事項が網羅されている範囲内で、様式を変更しても差し支えありません。
- (2) 用紙の規格は、A4版とします。ただし、図面はA3版としても差し支えありません。
- (3) 文章を補完するために、写真、イラスト等を使用することができます。
- (4) 記載内容が定められた様式に収まらない場合は、適宜枚数を増やしても差し支えありません。

### 2 企画提案書作成上の留意事項

- (1) 事業実施体制・遂行能力
 

次の項目について、記載日時点で記入してください。

  - ① 資本金
 

払込済み額を記載してください。
  - ② 営業年数
 

営業年数を記載してください。
  - ③ 従業員数
 

通年雇用、季節雇用別に従業員数を記載してください。「通年」とは1年以上の期間を継続して雇用しているもの、「季節」とは雇用期間が1年未満のものをいいます。
  - ④ 素材生産実績
 

昨年、及び一昨年に参加者(協同組合の場合は構成員を含む)自らが保有する林業機械を用いて造材した立木材積を記載してください。国有林、道有林、民有林を問わず、請負、下請けによるものも含まれます。
  - ⑤ 造林請負実績
 

昨年、及び一昨年に受注(協同組合の場合は構成員を含む)した造林事業の受注金額を記載してください。国有林、道有林、民有林を問いません。
  - ⑥ 林業労働者研修修了者登録状況
 

申請者の会社に、農林水産省が実施する「緑の雇用」現場技能者育成対策事業による研修を受講し、同省が備える研修修了者名簿にフォレストマネージャー(統括現場管理責任者)、フォレストリーダー(現場管理責任者)、フォレストワーカー(林業作業士)として登録されている者が在籍する場合は、その人数について記載してください。
  - ⑦ 事業者名
 

事業者の代表者名、所在地、林産物の売払い資格名簿番号及び造林資格登録番号を記載してください。

なお、企画提案者と事業者が同一の場合は記載不要です。
  - ⑧ 事業実行体制
 

実際に事業を担当する事業者が保有する主な林業機械等について、機械名及び台数を記載してください。また、それぞれの雇用人数について通年・季節別に記載するとともに、林業労働者に関する研修修了者登録状況について⑥に基づき記載してください。企画提案者と事業者が同一の場合は、保有林業機械のみを記載してください。
  - ⑨ 安全体制・教育の状況
 

労働安全体制及び社員教育について実践していることを記載してください。
  - ⑩ 社会貢献活動の実施状況
 

ボランティア活動や地域への貢献について実践していることを記載してください。
- (2) 提案内容
 

次の項目について、協定森林の整備を通じて取り組む提案内容を記載してください。

  - ① 雇用の確保及び設備投資等
 

雇用者の若返りや増員、通年雇用化などの雇用確保に向けた取り組みや、事業に使用する機械の更新や新規導入等について、具体的に記載してください。
  - ② 伐採木の利用・流通
 

ア 販路の拡大
 

大径木等の付加価値向上や販路拡大等について、具体的に記載してください。

※道の施策「道産建築材の安定供給体制の強化等」に応じた製材等の流通見込み(R4～8年度)を別紙様式1「複合協定型森林整備事業・建築材生産納入計画表」に記載し、企画提案書とともに提出してください。
  - イ 林地未利用材の活用

枝葉や林地未利用材など、森林資源を有効に活用する方法について、具体的に記載してください。

#### ウ 生産性の向上

素材の生産や流通に係るコストの縮減、新たな造材システムの導入など、施業の集約化・効率化をどのように図るか、具体的に記載してください。

##### ③ 造林作業の軽労化・効率化

###### ア 作業の軽労化

機械等を活用した労働強度を軽減する取組み等について、具体的に記載してください。

###### イ 作業の効率化

伐採と地拵え等の一貫作業や機械作業を前提とした地拵・植栽仕様などについて、具体的に記載してください。

##### ④ 保育・保護・路網整備の手法や創意工夫

作業種毎に作業内容や軽労化・効率化を図るための創意工夫等について、具体的に記載してください。

##### ⑤ 環境への配慮

残存木を傷つけずに保全するための手法や、雨天時の集材路からの土砂流出対策、生物多様性の保全など、自然環境に配慮するための提案について、具体的に記載してください。

##### ⑥ その他

道有林の整備や木育、地域への貢献など、上記に該当しない提案事項を自由に記載してください。

### 3 作業計画

#### (1) 伐採計画

① 別記第5号様式(その4)に記載されている全ての伐採対象林小班について、伐採予定年月、伐採方法を記載してください。

② 伐採年度が予め指定されている場合があります。伐採年度の変更を希望する場合は、赤字で希望年度を入力した上で摘要欄にその理由を記載してください。なお、希望に添えないことがありますので留意ください。

#### (2) 造林計画

① 別記第5号様式(その4)に記載されている全ての対象箇所について、施工年度、施工方法、仕様等を記載してください。

② 植栽年度が予め指定記入されている場合があります。植栽年度の変更を希望する場合は、赤字で希望年度を入力した上で摘要欄にその理由を記載してください。なお、希望に添えないことがありますので留意ください。

③ 主伐計画年度の翌年度から起算して2年以内に植栽が完了するよう計画してください。

### 4 計画図

公告された図面を用いるなどして、林小班別・作業種別に伐採年度、施工年度等が分かるようにし、上部に「4. 提案内容(計画図)」と記載してください。